



丹波市誕生から5年
これまで これからも
みんなの笑顔があふれるまちをめざして

祝・5歳

Contents もくじ

特集1 丹波市が5歳になりました
誕生から5年。「心の合併」を合言葉に 2～5
トピックス 丹波八宿青垣の秋 ほか 6～7
こちら市長執務室 8
教育たんば 10～12

イベント情報 成人式ほか 14～15
健康生活 16～17
新型インフルエンザ情報 22～23

特集2 子どもたちの未来をみんなの手で
これからの50年を生きる君たちへ 24～25

誕生から5年

「心の合併」を合言葉にしたまちづくり

丹波市が5歳になりました

今から5年前、平成の大合併が進む平成16年11月1日、丹波市は県内24番目の市として誕生しました。旧氷上町役場を本庁舎に、分庁舎と4支所、1出張所による分庁舎方式で業務をスタートしましたが、新市の船出は決して穏やかなものではありませんでした。

合併を目前に控えた10月20日、大型で強い台風23号の接近により市内各地は長時間にわたって強い雨風に見舞われ、床上浸水や道路の寸断などの被害を受けました。こうして「災害からの復旧」という大きな課題を抱えながら丹波市はスタートしました。

そして、もう一つの新市の大きな課題が、6つの地域をひとつにまとめるための市民の連帯意識を高めることでした。

そこで、6つの町と住民の心を一つに、市としての一体感を強めていくため、「まごころの里」をキャッチフレーズに「心の合併」を推進することとしました。

まず、地域の課題をみんなで解決する中で育まれる「共助の精神」が不可欠と考え、市民の参画と協働を進めるため、市内25校区で「地域づくり事業」を展開。この事業を通じて、それぞれの地域が長年にわたって培い大切に育んできた「自然」「風土」「文化」など地域の魅力を大いに輝かせ、市全体が調和していくことが「真の合併」につながると確信し、取り組みを続けています。



色鮮やかな着物と丹波市音頭で華を添えていただきました

市民が心をひとつに踊れる「丹波市音頭」を、丹波市郷土民謡保存協会のみなさんに披露していただきました。

高校生が育てた花で彩られた会場

舞台上は、県立氷上高校営農科の6人が中心となって、1年かけて大切に育てられた色鮮やかなシクラメンで彩られました。「自分たちが大切に育てた花が、式典で飾ってもらえてうれしかった」と、式典当日の搬入・配置作業を担当した、安達拓己くん（1年生）と武内裕平くん（3年生）。

発表を終えて…

「緊張したけど自分の言いたかったことを伝えられてよかった」「5周年という大切な式典に自分も参加できてうれしかった」



藤本 唯さん

「未来の丹波市」一妹が市内で夜間診察を受けられなかった体験をもとに、医療や福祉の充実を訴えました。



谷垣 菜穂さん

「温かいまち」一人と人とのふれあいを大切に家族のような温かいまちにと訴えました。



安達 舜さん

「ようこそ、ちーたん公園へ」―無農薬野菜のブランド化で地域活性化につなげるアイデアを披露。

11月1日

市民のみなさんとともに5周年を祝いました

11月1日に春日文化ホールで開催した「丹波市制施行5周年記念式典」には、地元選出の国会議員や県議会議員、関係機関の方々、自治会長、市民のみなさん、市職員らが集い、5周年を祝いました。アトラクションとして、丹波市郷土民謡保存協会のみなさんが、歌手・嶺陽子さんの唄にあわせて「丹波市音頭」を披露。色鮮やかな揃いの着物に身を包み、式典に華を添えていただきました。

小・中・高生3人が未来の丹波市を描き発表

市政5周年を迎えるにあたり、次代を担う子どもたちから「未来の丹波市」を思い描いた作文を募集しました。式典では、寄せられた187作品を代表して、安達舜さん（氷上高1年）、谷垣菜穂さん（和田中3年）、藤本唯さん（吉見小6年）に発表していただきました。

市では5周年を節目に、これまでの歩みを振り返るとともに、郷土愛に満ちた幸せあふれるまちづくりをめざして、これからも市民のみなさまとともに歩んでいきたいと考えています。

丹波市とともに明るく元気に育ってほしい

5年前の11月1日、午前0時48分に元気な産声を上げた山根翔真くん（氷上町犬岡）。おかあさんの友美さんは、丹波市誕生と同じ日に翔真くんが生まれたことがとてもうれしかったそうです。そして、毎年誕生日を迎えるたび、「丹波市も1年たったんだな」と思われるとか。市とともに歩んできた5年間を振り返り、「これからもずっと、翔真も丹波市も明るく元気に育ってほしいですね」とやさしく語ってくださいました。



丹波市5年のあゆみ

平成12年

10月2日 柏原町・氷上町・青垣町・春日町・山南町・市島町合併協議会発足

平成16年

10月20日 台風23号が猛威をふるう。死者3人、負傷者5人、半壊231戸、床上・床下浸水604戸など市内で甚大な被害が発生。
11月1日 平成の大合併により県内2番目の市として「丹波市」が発足。本庁舎・春日分庁舎・4支所と1出張所で業務を開始
丹波市社会福祉協議会発足
丹波市高齢者保健福祉計画・第2期介護保険事業計画策定
11月 市長・市議会議員選挙。市長選に2人が立候補。初代市長に辻重五郎氏
12月5日 辻市政スタート
12月6日 丹波市議会開会
12月16日 JＲ加古川線が電化
12月19日

平成17年

2月28日 青垣学校給食センター完成
3月18日 市営住宅松ヶ端団地（第2期）完成
4月1日 ひかみ障害者・児生活支援センターオープン
4月3日 丹波市誕生記念式典
4月6日 市営住宅香良団地完成
4月17日 北近畿豊岡自動車道 春日和田山道路一部（春日IC～氷上IC間）開通
7月11日 柏原保育所完成
9月3日 丹波市防災総合訓練を実施
9月10日 柏原支所リニューアル
10月2日 丹波市誕生1周年記念市民のつどい
11月1日 氷上保健センター完成
11月16日 特定環境保全公共下水道事業小川処理区完成

平成18年

11月24日 丹波市行政改革大綱策定
11月27日 新鐘ヶ坂トンネル完成
12月23日 青垣住民センターオープン
1月20日 丹波市国際交流協会設立
2月10日 丹波市行政改革実施計画策定
2月18日 青垣住民センター内に図書館オープン
2月28日 上久下小学校プール完成
3月2日 蘆田家住宅（青垣町東芦田）が国の有形文化財に登録される
3月24日 進修小学校屋内運動場完成
3月30日 丹波市総合計画策定
3月 健康たんば21策定
4月1日 丹波市水道施設整備計画（水道ビジョン）策定
丹波市地域包括支援センター設置
篠山市と災害応援協定を締結
春日救急駐在所が週3日の昼間駐在を開始
健康寿命日本一宣言および除幕式
道の駅 丹波おばあちゃんの里オープン
4月8日 市営住宅国領団地完成
4月18日 3チャイルド子育て支援事業・ファミリーサポートセンター事業がスタート
7月22日 北近畿豊岡自動車道春日和田山道路（氷上IC～和田山JCT・IC間）全面開通
8月7日 市内の地学愛好家 足立冽さんと村上茂さんが山南町上滝の篠山層群で恐竜化石を発見
9月27日 JＲ市島駅・丹波竹田駅前広場完成
9月30日 のぎく兵庫国体が開会
10月8日 県道迫入市島線小多利バイパス（春日町小多利～市島町梶原間）が完成
10月14日 のぎく兵庫大会が開会
12月10日 第3期丹波市消防団が発足

平成19年

2月15日 人と自然の博物館とボランティアによる恐竜化石第1次発掘作業を開始
2月23日 母坪浄水場浄水処理施設完成
3月18日 市花「かたくり」・市木「もみじ」が決定
4月1日 市内全25校区で地域づくり事業スタート



のぎく兵庫国体



健康寿命日本一除幕式



丹波市誕生記念式典

市制施行 **5** 周年記念
Since2005 ⇨ 2009



新鐘ヶ坂トンネルが開通



北近畿豊岡自動車道春日和田山道路（氷上IC～和田山JCT・IC間）が全面開通



柏原支所をリニューアル



平成17年8月7日
恐竜化石発見。
すべてはこの発見からはじまった。

4月1日

4月3日

4月14日

4月21日

水道部事務所を柏原支所に移転。丹波市教育委員会事務局を山南支所に移転。企画部に恐竜を活かしたまちづくり課を設置
4月3日 丹波市初認定こども園よしみが開園
4月14日 北近畿豊岡自動車道氷上PA（丹波いづぶく茶屋）がオープン
4月21日 植野記念美術館で山下清展を開催（～5月27日）入館者数2万4千人超

4月24日

5月14日

5月15日

5月15日

7月9日

7月10日

7月30日

7月31日

10月1日

10月15日

11月1日

12月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

10月1日

まごころ
の里

丹波市初認定こども園よしみが開園
北近畿豊岡自動車道氷上PA（丹波いづぶく茶屋）がオープン
植野記念美術館で山下清展を開催（～5月27日）入館者数2万4千人超
4月24日 兵庫県森林動物研究センターオープン
5月14日 丹波市医師会員の輪番制による「平日夜8時～10時応急診療室」をスタート
5月15日 西山酒造場が国の有形文化財に登録される
7月9日 関西大学と連携協力に関する協定を締結
7月10日 レジ袋削減の取り組みに関するコープこうべとの調印式
7月30日 柏原・氷上学校給食センターが完成
7月31日 県民局・市・人と自然の博物館が恐竜化石に伴う基本協定を締結
10月1日 山南町久下水道事業、和田水道事業および小川簡易水道事業の3事業を統合し、丹波市山南上水道事業となる
セーフティーたんば号を市内全小中学校に配備
丹波市商工会発足
丹波竜化石工房がオープン

平成20年

1月4日 柏原・氷上・青垣・春日地域内の上水道4事業、簡易水道6事業を統合し丹波市中央上水道事業となる
3月27日 野村バイパス開通
3月31日 市立ながの保育園とこばと保育園が開園
4月1日 青垣救急駐在所が週3日の昼間駐在に増強
4月4日 和田出張所廃止
4月10日 「丹波竜」が発録商標に認定
4月10日 丹波竜化石工房来館者が1万人を突破

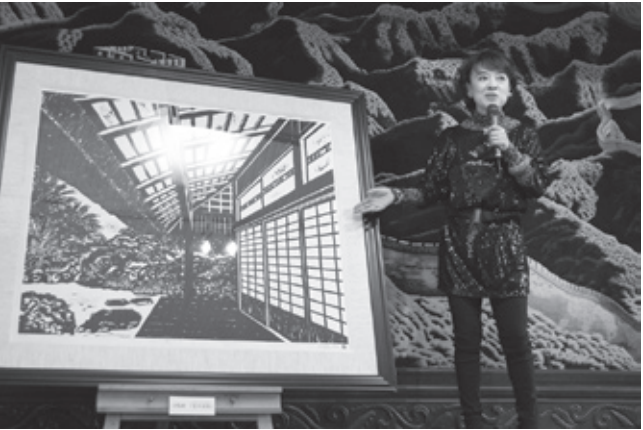
4月18日 旧上久下村宮上滝発電所が国の有形文化財に登録される
4月 〔社〕みつみ保育園が統合保育園としてスタート
6月30日 JＲ福知山線石生駅西土地区画整理事業の保留地販売開始
7月3日 丹波市一般廃棄物処理施設の建設用地が春日町野上野地内に決定
7月31日 吉見小学校屋内運動場完成
7月 〔恐竜の里たんば〕と〔寄附金〕募集開始
9月25日 マスコットキャラクター「ちーたん」が決定
9月30日 市立春日自動車教習所が開所
11月8日 財兵庫丹波の森協会設立20周年記念行事
11月16日 市議会議員選挙 投票率75・84％
12月6日 辻市政2期目スタート

平成21年

1月5日 丹波竜のちーたんに丹波市PR特命大使を任命
1月6日 丹波市音頭完成
3月19日 石生駅西駅前駐車場完成
3月20日 吉見小学校屋外プール完成
3月23日 一般廃棄物処理施設進入路（市道野々間線）の整備に着手
3月24日 旧氷上高等小学校校舎が県の重要有形文化財に指定
3月25日 柏原中学校校舎完成
3月28日 『恐竜列車ちーたん号』運行
3月28日 県道沼市島線バイパス（市島町上竹田～八日市間）完成
3月29日 春日公民館リニューアル
4月1日 こども発達支援センターがオープン
4月 教育委員会にこども育成課新設 氷上公民館の名称を中央公民館に変更し、中央公民館事務局を移転 各公民館を分館化
春日図書館リニューアルオープン
丹波市合併5周年記念プレミアム商品券「ちーたん・ザ・プレミアム」販売
「丹波市国際交流ひろば」を開設
旧上久下村宮上滝発電所の改修工事に着手
集中豪雨により床上床下浸水（全117戸※8月2日午後4時現在）など市内で被害が発生
「たんば鉄道の日」宣言
丹波市制施行5周年記念式典

新型インフルエンザに注意！ ママのための救急講座を開催

県立柏原病院の小児科を守る会による「ドクターによるママのための救急講座」が開催されました。講師の県立柏原病院小児科医長和久祥三先生からは、「症状が出ても早い段階では陰性になるケースもあるので、発症後6時間後から24時間以内に受診して欲しい」など注意点や対処法などが説明されました。



ジュディ・オング^{せいぎよく} 倩玉 「ミニトーク&サイン会」を開催しました

11月29日まで植野記念美術館で、ジュディ・オング倩玉木版画の世界展～日本の美に魅せられて～を開催しています。10月18日には、ミニトークショーとサイン会が行われ、版画との出会いや、初めて作品を制作したとき道具がなく、バレンの代わりにスリッパを使って摺ったエピソード、日本家屋の美しさに魅せられて自身の作風に影響を受けたことなどもお話いただきました。



秋の丹波路を駆け抜ける 兵庫・丹波もみじの里ハーフマラソン

「第32回兵庫・丹波もみじの里ハーフマラソン大会」が、11月8日、グリーンベル青垣で行われました。全国から過去最多となる約3,800人のランナーがエントリー。当日は汗ばむ陽気の中、選手たちは沿道からの応援を受け、ベストタイムめざして秋の丹波路を駆け抜けました。



招待選手の元プロ野球広沢克己選手と子どもたち



マロンマカロンや丹波栗のブリュレ、山の芋入り栗わらびもち、シカ肉のすき焼き風どんぶりなどおいしいものがいっぱい。

昔の宿場まちを再現 八宿まつりを開催



古くから宿場町として栄えた青垣町佐治の商店街で、11月3日「丹波八宿青垣の秋」が開催されました。

商店街には露天が軒を連ね、地元商工会青年部が民話を基にした「佐治の女神」と題した劇を演じ観客の拍手と笑いを誘いました。また、「飛脚リレー」には29組約180人が参加し、飛脚姿の参加者らが佐治の町中を走り抜けました。



「丹波の森の物語」スイーツや和菓子、鹿肉料理で丹波の秋を満喫

10月21日、丹波の森公苑で、「丹波の森の物語 第2話“森のみのり”」が行なわれました。大納言小豆や丹波栗、丹波山の芋、シカ肉など、地元産の食材を使った特産品開発の発表の場として、市商工会が主催したもので、市料飲組合や市菓子工業組合、丹波市の特産品開発に携わる園田学園女子大学などがおしゃれなスイーツや和菓子、鹿肉料理などを多数出品。参加者は、丹波の秋の味覚をたっぷりと味わったあと、味や盛り付けについて真剣な表情で評価し、調査票に書き込んでいました。



特定非営利活動法人 神楽の郷（青垣地域） 元気発信むら 神楽



エコミュージアム資料の収集風景

神楽地区は、農業以外に主な産業がなく、過疎化・高齢化が進み地域内活力の低下が課題でした。兼業農家の担い手不足による耕作放棄地の増加であちこちに遊休農地が見られ、自然破壊が生じています。

小さな美しい元気なむらづくりのために、耕作放棄地の復元や良好な自然の維持に積極的に取り組み、ふるさとの自然を大切にする住民意識の高揚と元気な地域づくり人材の養成が急務です。

農地の適切な維持管理と、自然とともに生き、農地が持つさまざまな役割を發揮させるために、「加古川源流の郷ミュージアム（生活環境地域博物館）構想」の策定に取り組んでいます。

また、地域住民の交流・学習の場、さらには地域住民と都市住民との交流活動として、三菱重工神戸造船所と連携して、芝栗を植栽した栗園を整備する「企業の森づくり」を展開しています。

「あなたの智恵、みんなが主役のむらづくり」を基底に、「小さな美しい元気なむら」の具体化に向けて、地域に愛着と誇りを持ち「人・水・緑が輝く元気発信むら 神楽」を目標にその実現に努めています。

市政 News



新しいごみ処理施設の取り組み情報

ごみ処理施設の建設に向けて

市道野々間線の第2期工事が進んでいます

延長 / 520m 橋梁新設工事：橋長 / 9.0m
県道追入市島線の右折拡幅工事：延長 / 100m
工期 / 平成22年3月25日まで
環境整備課 ☎ 82-1292

市政 News

市民意識アンケート調査を実施しました

図 財政課 ☎ 82 - 0029

市では、合併後さまざまな事務事業の見直しを行い、改革に取り組んできました。そこで、市民のみなさんが、日常生活の中で不便に感じられていることや、市の事業の認知度などをおたずねし、行政サービスの進み具合を把握するため、「市民意識アンケート調査」を実施しました。調査は、市内公共施設など24か所で行い、職員の状態や窓口対応、福祉施策や公共施設、道路整備、ごみ処理の状況など5つのテーマで、715人の方にお伺いしました。調査結果やお寄せいただいたご意見は、今後市民のみなさんにお知らせするとともに、限られた財源を有効に活用できるよう生かしていきます。

市税や公共料金などの未納額

11億5,188万円

(一般会計、特別会計、企業会計含む)

納期限内の納付にご協力ください

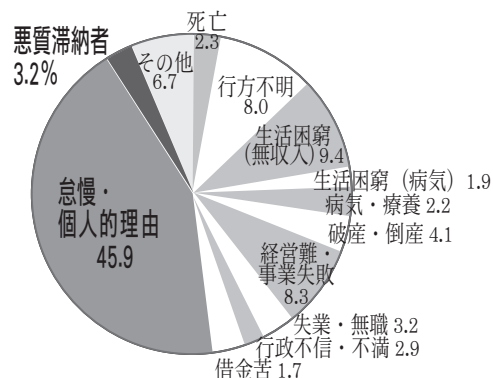
いずれも平成20年度のデータ

図 収納対策課 ☎ 8 2 - 1 5 3 5



滞納の原因は？

(平成21年3月末現在)



み なさんに納めていただいている市税や公共料金などは、快適なまちづくりを進めるための大切な財源です。納められない方には、納期限内に納めた方との公平性を保つため、督促手数料や延滞金が加算されます。

市税滞納縮減へ体制強化

個 人市県民税などの滞納額減縮を図るため、10月から県職員で組織された「特別徴収対策チーム」といっしょに徴収や滞納処分に関する事務を行っています。

ま た、督促状や催告書、電話などにより再三お願いしても、納付がない場合は、給与や預金、不動産などの財産を差し押え、法に基づく滞納処分を行っています。

も しも、思わぬ事故や災害、失業や病気などどうしても納期限内に納められないときは、お早めに収納対策課へご相談ください。

7,765万2千円を差し押えました

納付がない場合は、不動産などの差し押えを行っています。差し押えた動産や不動産は、Yahoo! JAPAN が提供するインターネットオークションなどを利用して売却し、その代金を滞納金に充てています（インターネット公売・一般公売）。

市税滞納者への差し押え

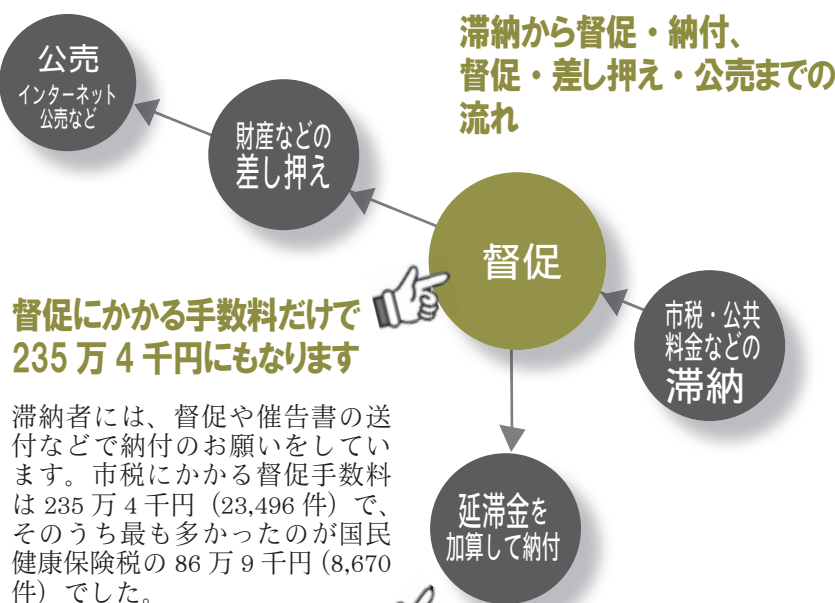
土地や預貯金、靴など、総額7,759万3千円を差し押えました。

項目	件数	金額
土地など(不動産)	18	1,419万6千円
預貯金・給与など(債権)	176	5,949万2千円
靴など(動産)	2	390万5千円
合計	196	7,759万3千円

公共料金などの滞納者への差し押え

預貯金5万9千円を差し押えました。

項目	件数	金額
保育園保育料	1	5万9千円
合計	1	5万9千円



督促にかかる手数料だけで235万4千円にもなります

滞納者には、督促や催告書の送付などで納付のお願いをしています。市税にかかる督促手数料は235万4千円(23,496件)で、そのうち最も多かったのが国民健康保険税の86万9千円(8,670件)でした。

市税に係る延滞金として2,097万7千円を加算し徴収しました

納期限内に納められなかったために上乗せして納めていただいた延滞金は、2,097万7千円(4,483件)。そのうち最も多かったのは、固定資産税の769万7千円(1,189件)でした。

税務課、収納対策課からの通知は、大切なお知らせです。必ずご覧ください。



5周年記念式典を挙

丹波市制施行5周年を記念して、式典を開催し5年を振り返るとともに、これからのまちづくりについて市長としての方針を述べました。

市長からのメッセージ

【こちら市長執務室】

丹波市長 辻 重五郎

丹 波市制施行5周年を迎え、市長としてこの5年間を振り返り、市政へ新たな決意をいたしました。いろんな思い出をたどりながら、将来の丹波市を描いてみることにします。

平 成16年11月1日、丹波市が誕生しました。初代市長としての思い出をあげると、

①合併直前に台風23号の襲来で、災害復旧といった波乱万丈の船出となりました。尊い3人の命を失い、床上浸水や山林倒木等の大被害が発生しました。必死で被災地をめぐる、不眠不休の闘いでした。

②財政面では、1千億円を超える借金を抱えてのスタートとなりました。今後、相当な財政的圧迫をきたすことから、まず健全財政の確立が最優先の課題となりました。早速平成17年度に

丹波市制施行5周年を迎えて

は、行政改革大綱を策定し、「行政評価システム」を導入し、コスト意識・成果重視を意識した事務事業の見直しを行いました。

③6町の対等合併は、県下で唯一、全国でもまれな例であり、面積でも県下で5番目に広い(約500平方キロメートル)ことから、1日かけても市内全部を一巡することがかなわない状況です。いかに市の一体性を強固なものにするかが課題となり、「心の合併室」を設置して対応してきました。

④合併後も6地域とも人口は減少し、高齢化も日に日に進んでいる状況から、若者の定着が大きな課題となっています。

合 併して最初のころは、「合併しても何もないことがない。事業の削減、カット、公共料金の値上げ等々、こんなことだったら前の

と、利害の関係のある地域や市民からは反対意見が出て参ります。市として当然計画を企てた以上完遂せねばならないことですから、何回も地域に足を運び話し合う中で、ご理解ご納得をいただくケースもあり、またそうでない場合は、市議会においても市民の反対の意見を尊重されて、強い反対の立場をとられる場合もありました。

例 をあげれば、ごみの処理場の建設などは、まさに典型的な事例と言えます。ほかに、水道統合計画に基づく水源を求めての場水場設置の問題、山東救急駐在所設置場所の問題、施設の指定管理者選定問題等々、数を上げればたくさんあり、随分と時間を費やすことにもなりましたが、いずれも最終的には地域のみなさんと議会議員のみなさんの「丹

式 典を開催するにあたり、未来を担う小中高生のみなさんから、「描こう未来の丹波市」と題して18通のご提案をお寄せいただきました。みなさんのすばらしいご意見やアイデアを元に、「元氣」「安心」「再生」の3つのキーワードを柱にして、これからの地域医療の確保、農林の振興、子育て支援と教育の充実、高齢者の福祉の充実、環境問題への取り組み、観光商工振興等々に全力を傾注してがんばってまいります。なりましたが、皆様方に深甚なる感謝を申し上げます。

み なさんが住んでよかった、住み続けたと思うまちづくりをするには、まず「自分たちでできることは自らする」といった「市民力」と、市の職員の行政能力を高め、一丸となって積極的に取り組む「行政力」、さらには、農林商工の活躍により活力ある地域経済を構築する「産業力」が大切です。これらを高めることによって、「交流を育み、地域資源を生かした個性豊かで元氣なまちづくり」ができるかと確信いたしております。

今 となつてはみな懐かしい思い出であり、関係者のみなさまにあらためて感謝するとともに、職員一丸となつてがんばったことによるものと自負しております。丹波市5年のあゆみはこの広報でもお知らせしている通りですが、それぞれにドラマがあったように思います。



美術館通信

第4回「丹波美術大賞展」

大賞に中野健夫さん

全国公募「第4回丹波美術大賞展」の公開審査が9月30日に行われ、279点の応募作品の中から、大賞1点、優秀賞3点、入選55点が選ばれました。大賞には、中野健夫さん（春日町古河）の洋画「EINSTEINの視線」、優秀賞には足立進さん（氷上町市辺）の洋画「留まる時」が選ばれました。市内の入選者は次のとおりです（敬称略／受付順）。洋画「独行者」植村八郎（青垣地域）、洋画「羅漢さんファミリーの春」臼井邦昭（氷上町絹山）、洋画「群れB」足立均（青垣町田井縄）、彫刻「豊穣への祈り」北川敏彦（柏原町柏原）。



大賞 中野健夫さんの「EINSTEINの視線」

入賞入選作品展示会のご案内

会期 / 12月5日（土）～20日（日）

植野記念美術館にて

■表彰式 / 12月5日（土）午前10時～

表彰式終了後、審査員長の木村重信氏（兵庫県立美術館名誉館長）から講評をいただきます。

図文化創造課 ☎ 70 - 0819

ジュディ・オング せいごう
木版画の世界展
～日本の美を魅せられて～
～11月29日（日）～

市立植野記念美術館

丹波市氷上町西中 615-4 TEL0795-82-5945

http://edu.city.tamba.hyogo.jp/ueno/

開館時間 / 午前10時から午後5時

（入館は午後4時30分まで）

休館日 / 月曜日（祝日の場合は翌平日）

入館料 / 一般600円、大学・高校生400円、

小・中学生200円

※ココロンカード利用可、20人以上団体割引



*対象
幼=幼稚園 小=小学生
低=低学年 中=中学年

子育てひろば

- ♪全子育て学習センター合同事業
- 10（木）みんなげんきDEクリスマスコンサート 10:30 春日文化ホール
- ♪柏原子育て学習センター ☎ 72 - 4747
- 5（土）おはなし会（おひさまのクリスマス） 10:30
- ♪氷上子育て学習センター ☎ 82 - 1001
- 15（火）おしゃべりひろば 10:00 こうがやま児童館
- 17（木）季節の料理教室 10:00
- ♪青垣子育て学習センター ☎ 87 - 1919
- 4（金）キッズサロン 10:00
- 8（火）ベビーサロン 10:00
- ♪春日子育て学習センター ☎ 74 - 3040
- 12（土）子育て相談会 13:30
- ♪山南子育て学習センター ☎ 77 - 3160
- 3（木）親子ふれあい教室 クリスマスを飾ろう 10:00 やまなみホール
- 17（木）ひよこクラスはじめてのクリスマス 10:00 住民センター
- 24（木）わいわい相談 10:00

※会場表示がないものは子育て学習センターで開催。

おはなし会

- ♪中央 ☎ 82 - 7100
- 8日（火）10:30 幼児
- 12日（土）13:30 小
- 19日（土）11:00 小
- 26日（土）10:30 幼児
- ♪青垣 ☎ 87 - 1111
- 19日（土）10:30 幼児～小低
- ♪山南 ☎ 77 - 0310
- 13日（日）10:00 幼児
- 26日（土）10:30 幼児～小中
- ♪市島 ☎ 85 - 3030
- 6日（日）10:30 幼児～小
- おりがみ教室テーマ「クリスマス」
- 12日（土）10:30 幼児
- 19日（土）10:30 幼児～小低
- 26日（土）10:30 小
- ♪柏原 ☎ 72 - 2552
- 19日（土）10:30 幼児
- ♪春日 ☎ 74 - 0225
- 19日（土）10:30 幼児～小低

*会場 各図書館

児童館

- ♪こうがやま児童館 ☎ 82 - 8620
- 5日（土）音楽であそぼう 13:30 小1～3年
- 9日（水）こころのSOS 10:00 乳幼児
- 12日（土）英語であそぼう 9:00 小
- 15日（火）おしゃべり広場 10:00 乳幼児
- ♪しろやま児童館 ☎ 82 - 0843
- 11日（金）親子であそぼう・トトロくらぶ合同クリスマス 10:00 乳幼児
- 12日（土）絵画教室 9:30 小1～4年
- 19日（土）作ってあそぼう 9:30 小1～3年

図書館年末年始休館のお知らせ
市内全館 12月28日（月）～1月4日（月）
中央図書館・市島図書館
館内資料整理休館 1月5日（火）

市島子育て学習センター

うんとこしょ！どっこいしょ！！

わ かが教室では、人形劇サークル「くれよん」による“おおきなかぶ”の人形劇を親子で楽しみました。参加した親子も、うさぎ・うし・たぬき・きりん・ちーたんのお面をかぶり、“大きなかぶ”をぬくお手伝い。見るだけでなくいっしょに参加して、お話の中の登場人物になることによって、お話がぐ～んと身近なものになりました。また、みんなで協力して成し遂げることの喜びを体験することができました。

舞 台に立つのが初めてで、ちょっぴりはずかしく、固まってしまう子もいましたが、みんなで「うんとこしょ！どっこいしょ！」と大きなかけ声をかけているうちに徐々に表情もゆるみ、いつの間にかみんなといっしょに引っ張っていました。ついに大きな大きなかぶがぬけました。「やっ



うんとこしょ！どっこいしょ！！



お団子バイキング！「ほらみて、おいしいお顔！」

たー！」の歓声と拍手でお話は幕を閉じました。この体験で子どもたちも、ことばや遊びが広がるきっかけになりました。

お話の後は、食育学習として“団子バイキング”を楽しみました。きな粉・白ごま・黒ごま・でんぶ・きざみのり・青のりをそれぞれ団子につけ、初めて体験する味にドキドキワクワクしながら口に運ぶ親子。「わっ！団子にでんぶは意外～。おいしい！」「きざみのりもおいしい！」となかなか好評でした。

子育て中にいろいろな体験をし、さまざまな経験を積み重ねながら、親子でたくましく育ててほしいと思います。子育て学習センターは、親子の「学び」「育ち」を支援しています。

図 社会教育課 ☎ 70 - 0818

平成21年度

大きなおはなし会開催

市内の読み聞かせグループによるおはなし会

12月12日（土）13:30～14:30 中央図書館視聴覚室にて ストーリーテリング「お月様の話」・ポップアップ絵本シアター「サンタのくにへいったよ」ほか（小学生低学年向け） 図 中央図書館 ☎ 82 - 7100

ベストリーダー情報（10月末現在）

【一般書】			【児童書】		
順位	本の名前	作 者	順位	本の名前	作 者
1	流星の絆	東野圭吾	1	ねずみくんうみへいく	なかえよしを
2	終の住処	磯崎憲一郎	1	ハリ・ポッターと死の秘宝	J.K.ローリング
3	告白	湊かなえ	3	おおきなかぶ	内田莉莎子
4	運命の人	山崎豊子	3	そらまめくんとながいながい	なかやみわ
4	同期	今野 敏	3	パムとケロのおかいもの	島田ゆか

予約ランキングベスト5（10月末現在）

【一般書】			【児童書】		
順位	本の名前	作 者	順位	本の名前	作 者
1	1Q84	村上春樹	1	獣の奏者	上橋菜穂子
2	新参者	東野圭吾	2	カイロ団長	宮沢賢治
3	佗助ノ白	佐伯泰英	2	コウテイペンギンのおやこ	内山 晟
4	パラドックス13	東野圭吾	2	シマが基地になった日	真鍋和子
5	フリーター、家を買う。	有川 浩	2	スーホの白い馬	大塚勇三

BOOKS みんなで図書館に出かけよう

12月	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	4
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31		
×印は図書館休館日							



図 図書館事務局 ☎ 82 - 7100

おすすめ図書

*一般書「私が見た戦争」

石川文洋 / 著 新日本出版社（2009.8）

さまざまな戦場を撮り続けてきた写真家が、生々しい戦場や戦地で生きる人々を切り取った写真とともに、「世界の平和を築き、戦争を防ぐためには、戦争の実態を知り、その悲劇を想像することが大切」と訴えます。



*児童書「ジェインのもうふ」

アサーミラー / 作 アルバカー / 絵

厨川圭子 / 訳 偕成社

ジェインはピンクのあかちゃんもうふが大好き。泣いていてもピンクのもうふを渡されるとピタッと泣きやむのでした。でも、ジェインが大きくなるにつれて、あかちゃんもうふは小さくぼろぼろに…。ある朝、青い小鳥がやってきて、もうふの糸を引き抜いてくわえて飛んでいきました。小鳥は巣作りに毛糸を運んでいるのでした。ジェインは、ピンクのもうふを小鳥のあかちゃんにゆずることにしました。（やさしいおはなし 小学低学年から）

12

特集：丹波市が
5歳になりました

特集：丹波市が
5歳になりました

トピックス・
ちいきづくり

市長執務室・
納期限内に納付を

教育たんば

教育たんば
くらし・相談

イベント

情報ひろば
(健康)

情報ひろば
(お知ろせ)

情報ひろば
(お知ろせ・戸籍)

特集：子どもたちの
未来をみんなの手で

特集：子どもたちの
未来をみんなの手で

ダンスフェスタ ACT VIII

2009.12.6 (SUN)

13:00 START 入場無料
ライフピアいちじま

バレエ・ダンスパフォーマンス・
フラ・チアリーディング・
ジャズダンスなど。

会場 ライフピアいちじま
☎ 70 - 0819

クリスマス映画会 「ボルト」

ディズニー映画最新作！

＊同時上映＊『ヒヤヒヤヒヤリコとばぶばぶはいきんまん』

と き 12月23日 (水・祝) 入場料：無料

午後2時～ (上映時間 / 1時間 36分)

ところ ライフピアいちじま大ホール

会場 ライフピアいちじま ☎ 70 - 0819

丹波市人権フェスティバル 人権講演会
地球のたからもの この星の子どもたち

と き 12/5 (土)

午後1時30分～4時 春日文化ホール

講師 / 田中章義さん (元国連 WAFUNIF
親善大使) ※手話・要約筆記あり。託
児をご希望の方は11月26日 (木) ま
でに人権啓発センターへ。当日は、中学
生人権作文の表彰と朗読、感謝状贈呈、
「小・中学生人権啓発ポスター」の表彰
も行います (入場無料・事前申込不要)。

＊「小・中学生人権啓発ポスター展」
12/1 (火) ～ 10 (木) ※10日は午前中
春日庁舎1階ふれあいホールにて

＊「拉致問題を考える啓発パネル展」
12/11 (金) ～ 17日 (木)
春日庁舎1階ふれあいホールにて
会場 人権啓発センター ☎ 82 - 0242



りッキーズのおねえさんといっしょに歌おう！

ライフピア DE クリスマス

第1部 ドリームエコミュージカル
第2部 クリスマス “歌はともだち”
コンサート 2009

と き 12月20日 (日)

午後2時開演

ところ ライフピアいちじま
大ホール

■入場料 / 一律 500 円 (全席自由)
※プレゼントをご希望の方は、別途プレゼ
ント券 (500 円) をお買い求めください。
※プレゼント券購入締切
12月13日 (日) 午後5時
[チケット電話予約]
ライフピアいちじま ☎ 85-3030

体験教室・イベント



各教室・講座は、事前に
お申し込みください。

丹波布伝承館

☎ 80 - 5100
FAX 80 - 5101

☆糸つむぎ教室

12月13日 (日) 23日 (水・祝)
午前10時～午後4時 参加費
/1,200 円 ※要電話予約

青垣いきものふれあいの里

各教室は事前にお申し込みください。

☎ 88 - 0888
FAX 88 - 0887

☆樹木とくらし展

むかしから樹木は人々の暮らしに
大きくかかわってきました。生活

の中で木がどのように活用されて
きたか利用方法など探ってみまし
よう。12月12日 (土) ～ 1月31
日 (日) 午前9時～午後5時 ※
月曜休館：月曜日が祭日の場合は
翌日休館・年末年始 12月29日～
1月4日休館

☆葛のかご作り講習会 ～オリジ ナルのかご作りを楽しもう～

葛などのツルを使ってかごを編み
ます。12月13日 (日) 午後1時
30分～ 持ち物 / 材料 (葛などの
ツル)、剪定ばさみ 参加費 200
円 (中学生以下無料) 指導 / 友の
会・花かごサークルのみなさん
※材料を用意できない方は、ツル
を友の会が 500 円で販売します。

山南農産物処理加工及び実習施設

遊工房

☎ 70 - 8800 FAX 70 - 8801

♪各教室は午後1時30分から開催し
ます。開催日の1週間前までに、電
話または FAX でお申し込みください。

☆葉草染め教室

12月12日 (土) 「赤鷲色に染めよ
う (イチイ)」 500 円～ 2,500 円

12月18日 (金) 「絞り模様を楽し
もう」 500 円～ 2,500 円

☆葛のつる教室

12月20日 (日) 「かごに新春を生
けよう」 2,000 円

☆押し花教室

12月13日 (日) 「楽しい小物作り
ミラー付キャンドルスタンド」
1,900 円

☆パンづくり体験教室

山南地域で栽培した小麦 (全粒粉)
を使ったパンづくり。10人以上
で1週間前までにご予約ください。
参加費 1人 500 円



丹波市成人式のご案内

平成 22 年 1 月 11 日 (月・成人の日)

なつかしい友、お世話にな
った方との「再会」。あな
たの記念日、いっしょにつ
くりませんか？

受 付 / 午後0時30分～ 開 会 / 午後1時30分～
会 場 / 柏原公民館アリーナ

対象 / 平成元年4月2日～平成2年4月1日生まれの方
その他 / 対象者には10月初旬に案内はがきを郵送しています。お
手元に届いていない場合は、お手数ですが下記までご連絡ください。
会場 社会教育課 ☎ 70 - 0818 Fax 70 - 0815



お困りごとはありませんか？ 身体障害者移動相談をご利用ください

兵庫県立身体障害者更生相談所による身体障害者の補装具移動相談が行われます（要予約）。■とき / 12月11日（金）受付：午前9時30分～正午 ■相談会場 / 丹南健康福祉センター（篠山市） ■対象 / 身体障害者手帳所持者で肢体に障害のある方 相談内容 / 車いす、装具、義肢などの交付判定および修理判定など ご予約・お問合せは、生活支援課（春日庁舎内） ☎ 74 - 0222 まで。

身近で安心！ 身体障害者相談員にご相談ください

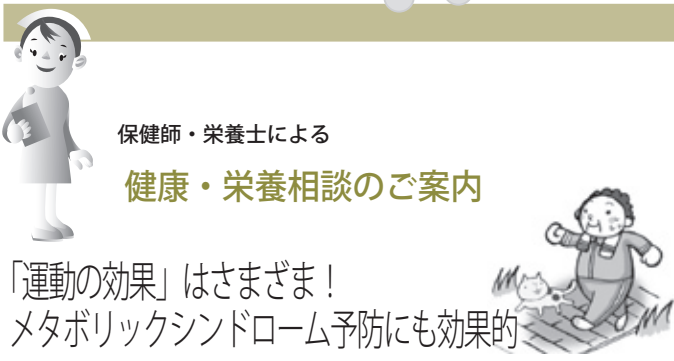
身体障害者相談員は県知事から委嘱を受けた民間協力者で、身体に障害のある方やそのご家族からのさまざまな相談をお受けして、問題解決のための助言、指導を行っています。お気軽にご相談ください。

身体障害者相談員
（任期：平成21年10月～23年9月）

	氏 名	電 話
柏原	原 田 東 亜 二	72 - 1187
	十 倉 勝 子	72 - 3279
氷上	細 見 尚 二	82 - 7169
	三 崎 嘉 之	82 - 0152
	徳 田 恭 男	82 - 6021
	八 尾 悟	82 - 2514
青垣	上 田 正 晴	82 - 4304
	足 立 美 佐 代	87 - 0933
春日	足 立 芳 夫	87 - 0969
	上 畑 教 一	75 - 0461
	河 南 博 士	74 - 1739
	田 和 哲	74 - 0260
山南	岸 部 嘉 子	74 - 1189
	鯉 ノ 内 儀 一	77 - 0915
	足 立 茂 樹	76 - 1138
	横 山 優	77 - 1280
市島	原 田 喜 義	78 - 0695
	吉 見 幸 雄	85 - 3050
	田 中 和 子	85 - 2482
	高 雄 幾 生	85 - 1209

☎ 生活支援課（春日庁舎内） ☎ 74 - 0222

健康生活 a healthful life



保健師・栄養士による

健康・栄養相談のご案内

「運動の効果」はさまざま！ メタボリックシンドローム予防にも効果的

内臓脂肪を減らすには、食事と運動を組み合わせる実践することが大事です。食事制限だけでは、脂肪といっしょに筋肉も落ちてしまいます。運動をすることで筋力を保ち、リバウンドを防ぐことにつながります。

〔運動の効果〕

- ①基礎代謝が上がる ②内臓脂肪を解消
 - ③血圧の安定
 - ④インスリンの働きがよくなり血糖値が下がる
 - ⑤中性脂肪値やLDL（悪玉）コレステロール値が下がりHDL（善玉）コレステロール値が上がる
 - などメタボリックシンドローム予防にも効果的です。
- ほかにも、リフレッシュすることで脳が活性化し、老化予防にも。また、骨に刺激が加わり、骨粗しょう症予防や、心肺機能の強化で血行もよくなるなど効果はさまざまです。

☆生活のなかで活動量を増やそう～まずは今より10分（約1000歩）多く歩きましょう～

生活のあらゆる場面でこまめに動くことが大切です。例えば…

- ①歩ける距離は歩く ②こまめに家事を行う
- ③何かをしながら筋力トレーニングをする
- ④近くへの移動は車より自転車、歩きで
- ⑤駐車場は遠くにとめる
- ⑥エレベーターやエスカレーターより階段を使う

など、生活の中で活動量を増やす方法を考えてみましょう。

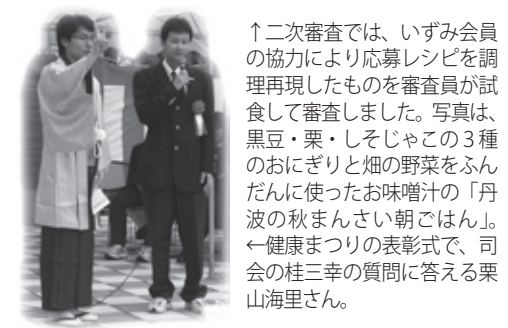
健康手帳で、健康管理！

健康手帳をご存じですか？健康手帳は、自分の健康を記録する便利なものです。各種健診の記録や体重、血圧、医者にかかった経過などを記録することができます。また、健康に関するさまざまなお役立ち情報が満載です。ポケットサイズで、持ち運びにも便利。健康管理には、記録をつけることがとても重要です。40歳以上で希望される方に無料で、支所、春日地域振興課、氷上保健センター内健康課で配布しています。郵送を希望される場合は、健康課 ☎ 82 - 4567 までご連絡ください。

第4回みんなで朝ごはんを食べよう料理コンテスト ちーたんカップ09朝は『ごはん』と『おみそ汁』 の結果を発表します！



今年の朝ごはんコンテストには、161点の「ごはんとおみそ汁」のオリジナルレシピの応募をいただきました。一次（書類）・二次（試食審査）審査の結果、受賞作品が決定しました。ちーたん大賞には、栗山海里（柏原高校2年）さんの「丹波の秋まんさい朝ごはん」が選ばれました。



↑二次審査では、いずみ会員の協力により応募レシピを調理再現したものを審査員が試食して審査しました。写真は、黒豆・栗・しそじゃこの3種のおにぎりと畑の野菜をふんだんに使ったお味噌汁の「丹波の秋まんさい朝ごはん」。

←健康まつりの表彰式で、司会の桂三幸の質問に答える栗山海里さん。

☎ 健康課（氷上保健センター内） ☎ 82 - 4567

Recepe No. 8 “たんば” 食育クッキング 1人分 93kcal 塩分 13 g

朝ごはん 基本の『き』④《副菜》季節野菜のおみそ汁（2人分）

*材料（2人分）	*つくり方
たまねぎ（ざく切り） 1/4個	①具をそれぞれ切りそろえる
さつまいも（半月切り） 1/4個	②鍋にねぎ以外の具を入れてだしを
にんじん（半月切り） 1/8本	はり、野菜が柔らかくなるまで煮る
じめじ（小房に分ける） 1/4パック	③味噌を溶き入れて火を止める
油揚げ（短冊切り） 小1/2枚	④お椀に注ぎ、小口に切ったねぎを
青ねぎ（小口切り） 適量	のせる
だし汁 300cc	
味噌 大さじ1	*旬の素材を取り合わせて

12月の健康相談

〔相談時間〕 午前9時30分～11時

- 1日（火） 柏原支所
 - 3日（木） 山南住民センター
 - 8日（火） 氷上保健センター
 - 17日（木） 春日公民館小会議室
 - 18日（金） 青垣住民センター
 - 25日（金） 市島住民センター
- ※予約優先 / 予約は健康課へ
☎ 健康課（氷上保健センター内） ☎ 82 - 4567

事前に、各支所保健師に相談日や内容などをご連絡いただくと、よりスムーズに相談に応じることができます。



12月の当番医（敬称略）

（平日夜間）丹波市午後8時～10時応急診療室（柏原日赤） ※平日昼間はかかりつけ医で受診してください						（休日昼間） 休日診療所
月	火	水	木	金	土	日
	1 長澤 進 （内 科）	2 和久晋三 （内 科）	3 柏原日赤 （内 科）	4 船坂眞里 （外 科）	5	6 田中庸生 （外 科）
7 中澤 敏 （内 科）	8 宮崎直之 （外 科）	9 森 幸三 （内 科）	10 柏原日赤 （内 科）	11 野上壽二 （内 科）	12	13 三浦博幸 （内 科）
14 松本好弘 （小児科）	15 田中 潔 （内 科）	16 塩見壮司 （外 科）	17 柏原日赤 （内 科）	18 赤松暉久 （内 科）	19	20 長澤 進 （内 科）
21 三浦博幸 （内 科）	22 保尾道紀 （内 科）	23 休日診療所へ	24 柏原日赤 （内 科）	25 岩崎良一 （外 科）	26	27 赤松暉久 （内 科）
28 上田明德 （外 科）	29 芦田乃介 （内 科）	30 長澤 進 （内 科）	31 休日診療所へ			

休日診療所へ

23 前田啓志
（整形外科）

31 松下全巳
（泌尿器科）

みんなで守ろう！HP 地域医療



※当番医は変更になることがあります。また、診察はあくまでも応急的なものです。症状が悪くなる場合などは、後日かかりつけ医を受診しましょう。

平成 21 年度子育て応援特別手当が執行停止になりました

HP

9月号の広報たんばでお知らせした「平成 21 年度子育て応援特別手当」が、国の政策により執行停止となりました。国では、『子育て応援特別手当の趣旨を活かしつつ、より充実した新しい「子ども手当」の創設を行い、子育て支援策を強力に推進する』ため、来年度の子ども手当創設を確実に実行するための決定としています。支給対象者のみなさまをはじめ、多くの方々

に心からお詫びします。
☎ 社会福祉課（春日庁舎内）☎ 74 - 1028

家屋（建物）を取り壊した場合は申告を

HP

家屋（建物）の全部または一部を取り壊した場合は、家屋滅失（取り壊し）届を提出してください。■**手続場所** / 税務課・地域振興課（春日庁舎内）・各支所 ■**届出に必要なもの** / 印鑑
☎ 税務課 ☎ 82 - 2003



凍結防止剤の散布にご協力ください



冬の凍結した路面はとても危険です。市道を安全に走行していただくため、降雪期には、委託業者による幹線市道などの除雪作業や凍結防止剤の散布を行っていますが、広範囲のため市民のみなさまのご協力をいただかなければ散布できない状況です。凍結防止剤は、橋の上や日陰など凍結が激しい市道に常備しています。自宅の周辺や通勤途中の市道で凍結防止剤の設置場所をご確認いただき、凍結防止剤の散布にご協力ください。なお、凍結が予想される前夜の散布も効果があります。※市道での路上駐車は、除雪作業の妨げとなります。ご協力をお願いします。

☎ 管理課（春日庁舎内）☎ 74-2653



募 集

伝統の「丹波布」を学びませんか？第 7 期丹波布伝承館長期伝習生募集

「丹波布」の技術を習得し、文化の保存・振興を担う人材を育成するため、長期伝習生を募集します。棉から布に仕上げる技術を学んでみませんか。■**講座内容** / 糸紡ぎ、草木染色、機織りなど一連の工程を基礎から学びます。棉や藍などの栽培実習あり。■**受講期間** / 平成 22 年 4 月～平成 24 年 3 月（2 年間）■**講習日** / 週 4 回（火・土日祝日を除く）午前 10 時～午後 4 時 ■**費用** / 入会金 10,000 円、受講料（月額）12,000 円、材料費・道具費（年間）40,000 円■**定員** / 8 人程度（申込多数の場合書類審査および面接で決定）■**募集資格** / ①丹波布に関心があり、丹波布の技術を習得し、保存・振興をめざせる方。②受講期間中は各種行事などの交流に積極的に参加する意欲のある方 ■**申込締切** / 12 月 18 日（金）■**青垣分館**にある申込書を提出してください。

☎ 中央公民館青垣分館 ☎ 87 - 0363

ごみ・環境

地球にやさしく家計にもお得！エコチェックカレンダーでエコライフはじめませんか？

HP



みなさんはどんな「エコライフ」を送っていますか？地球にやさしい暮らしを実践しているかを自己点検する、「エコチェックカレンダー 2010 年版」（県推進センター作成）を、先着 50 人に無料で差し上げます。家族みんなで手軽に省エネに取り組める工夫や、家計にお得な情報もたくさん紹介されています。ぜひお試しください。

■**申込締切** / 12 月 10 日（木） ■**12 月中旬以降は**、兵庫県地球温暖化防止活動推進センターのホームページ（<http://www.eco-hyogo.jp/ondancenter>）からも申し込むことができます。また、パソコンから入力できる電子版エコチェックカレンダーや「こどもエコチェック手帳」なども利用できます。

☎ 環境政策課 ☎ 82 - 1290

し尿の汲み取りは、余裕をもってお申込みください！

年末年始はし尿の汲み取り業務を休止するため、12 月下旬は汲取りの申込みが増え大変混み合うことが予想されます。急な申込みには対応できない場合がありますので、余裕を持ってお申込みください。

☎ 環境整備課 ☎ 82 - 1292

ごみは正しく分別を！

ごみの正しい排出、できていますか？

- ①ごみ袋の口をしっかりとくっつけて出していますか？
- ②生ごみなどの水切りをしっかりとしていますか？
- ③燃えるごみの中に資源ごみが混ざっていませんか？

（燃えるごみの中に新聞、雑誌やペットボトルなどの資源物が混ざっていることがあります）
⇒新聞・雑誌は地域の各種団体が実施される資源ごみ集団回収に、また、ペットボトルや紙パックなどは資源物として出すようにしましょう。

☎ 環境整備課 ☎ 82 - 1292

年末の大掃除にむけてごみ処理は余裕を持って

年末は、大掃除などでごみ処理施設へごみを直接搬入する機会が増えます。混みあいますので、大掃除などはゆとりを持って早めに搬入しましょう。

■**ごみ処理施設の開設日** / 平日（開設時間：午前 9 時～11 時 30 分・午後 1 時～4 時）

土・日・祝日は休業（ただし、篠山清掃センターを除いて第 2 日曜日は開設）

■**市内のリサイクル・クリーンセンター、篠山清掃センターの年末年始の開設日**

12	日	月	火	水	木	金	土
1	×	21	22	23	24	25	×
月	×	28	29	×	×	×	×
	×	4	5	6	7	8	×

■**開設時間** / 午前 9 時～11 時 30 分・午後 1 時～4 時 ※篠山市清掃センターは、12/29 のみ午前 9 時～11 時 45 分・午後 1 時～3 時です。※山南地域の方は、必ず山南支所で許可を受けてから搬入してください。

☎ 環境整備課 ☎ 82 - 1292

市営住宅・特定公共賃貸住宅入居者募集



入居者募集

HP

申し込みには、同居親族の有無や所得など条件があります。家賃や必要書類など詳しくは都市住宅課までお問い合わせください。

■**募集団地・戸数** / ①市営住宅・・・城ヶ花団地（市島町酒梨）3LDK 1 戸、下滝団地（山南町下滝）3DK 1 戸②特定公共賃貸住宅・・・拳田団地（柏原町拳田）3DK 2 戸、下滝団地（山南町下滝）3DK 3 戸、応相寺団地（青垣町中佐治）3LDK 2 戸、城ヶ花団地（市島町酒梨）4LDK、2LDK 各 1 戸、のこの団地（春日町野上野）3LDK 2 戸

※特定公共賃貸住宅は、前月の応募状況により募集戸数が減る場合があります。

■**受付期間** / 12 月 1 日（火）～14 日（月）

■**受付窓口** / 都市住宅課、市役所地域振興課、各支所

■**入居予定時期** / 平成 22 年 1 月下旬

※申込者多数の場合は抽選により決定します。

※市内の県営住宅の申込み登録も随時受付中。

☎ 都市住宅課（春日庁舎内）☎ 74 - 2364



利子補給の申請時期が変わります！ 「あなたの元気 応援します！ たんば・がんばる企業サポート事業」

①「丹波市中小企業資金利子補給金制度」

商工業者を対象に、中小企業資金（③の市の制度融資（運転資金）のほか県（経営円滑化貸付）・国の制度融資）に係る支払利子額の 30%または 1/3 を補助します。制度利用者で所定の同意書を提出された該当者には、年末に申請案内を送付します。なお、今年度から利子補給の対象となる支払利子の締切期間が、1 月～12 月の 1 年間に変更になります。ただし、今年 3 月までの支払利子分についてはすでに補助済みです。

※申請案内は、今年度から 12 月ごろに送付します。

☎ 新産業創造課（春日庁舎内）☎ 74 - 1464

②「中小企業退職金共済制度（中退共）の掛金補助制度」

中小企業退職金共済制度に加入し、共済掛金を納めている事業主に対し、掛金の一部を補助します。該当事業主に 2 月に申請案内を送付します。

③「丹波市中小企業資金融資制度」

市内金融機関を申し込み窓口に、商工業者に運転資金および設備資金を融通する市の融資制度です。

④「丹波市設備投資支援事業補助金制度」

商工業者が行う店舗・工場・事務所などの改装や、合理化施設導入などの事業に対し、費用の一部を助成します（要事前申請・随時受付）。

※「たんば・がんばる企業サポート事業」については、今後も広報やホームページ上でご案内します。



お知らせ

公的個人認証サービスが停止します

公的個人認証サービスセンターのシステム更新に伴い、12月28日(月)は窓口でのサービスが停止するため、市役所・春日庁舎・各支所窓口での電子証明書発行・失効などの手続きができません。詳しくは、公的個人認証サービス都道府県協議会のホームページ(<http://www.jpki.go.jp/>)をご覧ください。

要介護認定者の障害者控除には認定書が必要です

身体障害者手帳などをお持ちの方は、所得税などの申告の際、障害者控除の対象となります。また、介護保険で要介護認定を受けている方も、一定の認定基準を満たす場合は障害者控除の対象となります。控除を希望される方は、「障害者控除対象者認定書」が必要です。介護保険課・市役所地域振興課・各支所で申請手続きをしてください。
☎ 介護保険課(春日庁舎内) ☎ 74-0602

国民健康保険に加入のみなさんへ 12月1日から保険証が新しくなります

12月1日から国民健康保険の保険証が新しくなります。12月までに各ご家庭へ簡易書留にて郵送します。今お持ちの保険証は、12月になってから市役所またはお近くの支所へお返しください。
☎ 国保・医療課(氷上保健センター内) ☎ 82-6690

農業所得の収支内訳書作成説明会に参加しませんか?

来年2月から3月にかけて実施する納税相談に向けて、柏原税務署と市では「農業所得の収支内訳書作成説明会」を実施します。柏原税務署職員が、注意点などを分かりやすく説明しますので、農業機械設備などに係る減価償却の計算方法や収支内訳書の書き方が分からない方は、この機会にぜひご参加ください。☎ 税務課 ☎ 82-2003



農業用機械(トラクター、コンバインなど)の耐用年数が7年に統一されました。

開催月日	会 場	時 間
12/2(水)	春 日 公 民 館	午後1時30分～4時
12/3(木)	柏 原 公 民 館	
12/8(火)	中 央 公 民 館 (旧氷上公民館)	午後1時30分～4時 午後6時～8時
12/9(水)	青垣住民センター別館	午後1時30分～4時
12/10(木)	山南住民センター	
12/11(金)	ライフピアいちじま	



青垣中継局からのテレビ地上デジタル放送がはじまりました

青垣中継局からNHK(総合・教育)の地デジ試験放送がはじまりました。民放5社については、平成22年1月の試験放送開始に向け準備を進めています。
*地デジ説明会にお越しください
地デジについての広報活動や受信相談を行っている「総務省テレビ受信者支援センター」(デジサポ兵庫)では、地デジ説明会を開催します。受信方法などの説明や個別相談も実施します。ぜひご参加ください。■とき/12月20日(日)午後2時～ ■ところ/青垣公民館

*自治会でも説明します
自治会での説明会に説明員を派遣します。申込書は、上記の説明会会場または企画課にありますのでご希望の際はお申し込みください。
☎ 企画課情報管理係 ☎ 82-0916



携帯電話やパソコンに災害情報や気象警報を配信!

「丹波市防災メール」に登録しましょう
災害時、あらかじめ登録いただいた携帯電話やパソコンに、気象警報や市からの緊急情報をメールで配信する「丹波市防災メール」の運用が、12月からはじまります。利用するにはあらかじめ登録が必要で、12月の広報といっしょに登録方法などを記した「丹波市防災メールに登録しよう!」のご案内をお届けします。災害発生時に、いち早く情報を入手し、安全確保に役立てるためにも、ぜひご登録ください。登録方法は市のホームページ([HTTP://www.city.tamba.hyogo.jp/](http://www.city.tamba.hyogo.jp/))にも掲載しています。☎ 生活安全課 ☎ 82-1532

丹波市から発信! 「朝から点灯」運動実施中!

市では県内初の取り組みとして、高齢者の事故防止、歩行者・自転車乗用中の事故防止の為、夜間だけでなく、自動車の「朝からのライト点灯」運動を実施しています。市民のみなさんは、悲惨な交通事故をなくすため、「朝からのライト点灯」にご協力をお願いします。「朝からライト点灯」の効果は?
1. 車両の存在を相手に早く知らせることで、早期の危険回避につながります。
2. 運転者の交通安全意識を高め向上させます。
☎ 生活安全課 ☎ 82-1532



丹波市夜間健康相談ホットライン

フリーダイヤル ☎ 0120-737-180



[相談時間] 午後7時～午前0時 看護師・保健師・医師が、健康や医療、育児などの相談に応じ、わかりやすくアドバイスします。

HP 小学1年生～3年生の保護者のみなさまへ

平成22年度 丹波市アフタースクールの申込みを受け付けます

受付期間/12月14日(月)～24日(木)(期間厳守)

市では、市内に通う小学校1～3年生の児童で、保護者が就労などの理由により放課後家庭などで1人で過ごす必要のない児童を対象に、市内17か所でアフタースクール(学童保育)を実施しています。平成22年度の利用を希望される方はお申し込みください。
※25日(金)以降の申請は予約待ちとなりますのでご注意ください。

■申込方法/教育委員会子ども育成課、市役所地域振興課、各支所へ「入所申請書」と「就労証明」等を提出してください。申請書の様式やアフタースクール入所のご案内は教育委員会子ども育成課、市役所地域振興課、各支所、各アフタースクールにあります。市のホームページからもダウンロードできます。
☎ こども育成課(教育委員会) ☎ 70-0820

～保育所へ通う児童の保護者のみなさまへ～

HP 平成21年度 「ひょうご多子世帯保育料軽減制度のご案内

こどもを生み、育てやすい環境づくりを推進するため、多子世帯の児童の保育料の一部を助成しています。
■助成対象/次の①～④すべての要件を満たす世帯の方
①18歳未満(平成3年4月2日以降生まれ)の児童が3人以上いる
②第3番目以降の児童が現在認可保育所に通っている
③世帯の前年所得税の合計が40,000円未満(保育料階層の第2階層から第4階層)
④保育所保育料の滞納がない世帯

■助成限度額/3番目以降の児童1人あたり月額6,000円を超える保育料に対して、
3歳未満の児童…月額4,500円まで
3歳以上の児童…月額3,000円まで
■申請方法/市役所・教育委員会・各市役所窓口にある「多子世帯保育料軽減事業申請書」を教育委員会子ども育成課、地域振興課または各支所に提出してください。
■申込締切/12月28日(月)
☎ こども育成課(教育委員会) ☎ 70-0820



情報ひろば



世帯数と人口

総人口 70,119人 (-35)
男 33,654人 (-7)
女 36,465人 (-28)
世帯数 24,182世帯 (12)

*平成21年10月末現在・()内は前月比
*住民基本台帳に基づいて掲載

市内交通事故発生状況

人身事故 242件 (-25)
死者 2人 (-1)
傷者 329人 (-61)
物損事故 1,973件 (-58)

*平成21年10月末現在・()内は前年比

今月の税

国民健康保険税 (6期)
11月30日(月)まで

■次回の予定

固定資産税 (3期)

12月25日(金)まで

国民健康保険税 (7期)

1月4日(月)まで

☎ 税務課 ☎ 82-2003

今月の献血

11/20(金) 春日公民館

12/10(木) 山南住民センター

*午前11時30分～午後3時30分



「広報たんば」は、市のホームページ (<http://www.city.tamba.hyogo.jp/>) でもご覧いただけます。

新型インフルエンザ情報

☎ 健康課 (氷上保健センター内) ☎ 82-4567

接種回数が決まりました

- 妊婦・高齢者などは1回のみ -

1回接種



医療従事者



妊婦



1歳未満児の保護者



高齢者
(65歳以上)



基礎疾患を有する者
※原則1回ですが医師の判断で2回接種も可能

2回接種



13歳未満



中高校生
※当面2回接種で12月中旬に判断

戸籍のまど

9・10月届出順 (敬称略)

お誕生おめでとございます

赤ちゃん 保護者 住 所

田畑 月希 庸介 柏原町拳田
芦田 翔哉 興祐 柏原町田路
前川 大翔 準司 氷上町常楽
足立 花音 直樹 青垣町小倉
福田 賢梧 真司 柏原町下小倉
荻野 鈴菜 篤志 市島町北奥
善積 碧斗 昭典 氷上町大崎
衣川 夢旅 彰人 青垣町市原
勢志 梨乃 穰一 氷上町犬岡
徳田 旺季 幸嗣 柏原町石戸
小田 健太郎 浩正 青垣町佐治
西本 暖煌 琢磨 氷上町新郷
田村 莉子 靖 青垣町松倉
藤本 衣里 真澄 山南町谷川
村上 和響 紀章 柏原町拳田
中尾 流熙 考志 氷上町賀茂
大岡 奈央 史典 山南町北太田

井上 遙人 直人 市島町上竹田
橋本 鯉煌 英樹 市島町矢代
植田 璃胡 幸喜 氷上町成松
伊藤 湮緒 竜太 春日町棚原
足立 杏百合 洋平 山南町五ヶ野
前田 慶次 寛之 柏原町南多田
近藤 碧咲 誠一 春日町黒井
三木 悠聖 英一郎 山南町和田
出野 ももこ 昌布 柏原町柏原
吉住 悠佑 康宏 氷上町石生
辻本 悠人 哲也 柏原町柏原
片山 沙恵 慎也 氷上町新郷
山本 希歩 良晴 春日町野村
近藤 柚希 貴之 春日町棚原
石正 悠真 昌宏 山南町和田
酒井 爽 浩二 市島町下竹田
足立 姫乃心 伸也 氷上町氷上
井土 陽 雄太 柏原町柏原
谷口 菜乙 公洋 氷上町下新庄

接種費用を免除します

市では、左記の方を対象に、新型インフルエンザワクチンの接種費用を免除しています。

■免除の対象と接種に必要な書類

*全額免除 (2回分 6,150円)

生活保護受給者世帯	市・県民税非課税証明書 (新型インフルエンザワクチン接種費用助成証明用 ※税務課・春日庁舎地域振興課・各支所窓口で無料交付)、健康保険被保険者証
市民税非課税世帯	

*初回分のみ免除 (3,600円)

1歳～中学3年生の児童・生徒	母子健康手帳、健康保険被保険者証、学生証または住民票 ※集団接種の方向で現在市医師会と調整中。
妊 婦	母子健康手帳
1歳未満児の保護者など	母子健康手帳、健康保険被保険者証または住民票
1歳～中学3年生までの身体的な理由により接種できない人の保護者など	優先接種対象者証明書、健康保険被保険者証または住民票

[参考] 同じ医療機関で2回接種した場合の費用
1回目 3,600円 2回目 2,550円

接種費用の免除を希望される方は、健康課・地域振興課 (春日庁舎内)・各支所窓口で申請し、「予診票 (接種費用助成用)」の交付を受けてから医療機関で接種してください。

なお、市内の園児・小中学生の「予診票 (接種費用助成用)」は、園・学校を通じて配布します。

※新型インフルエンザワクチンの接種開始日が決まり次第、防災行政無線・市のホームページなどでお知らせします。希望される方は、医療機関などに直接ご予約ください。

※市外の医療機関で接種された場合は、後日、申請により口座に振り込みます。領収書、印鑑、通帳と新型インフルエンザ予防接種済証を提出してください。

接種時期

接種対象者	接種開始時期
① 妊婦・基礎疾患を有する者	11月16日～
② 基礎疾患を有する者	12月上旬
③ 1歳～小学3年生	12月中旬
④ 1歳未満児の保護者	平成22年1月上旬
⑤ 小学4年生～中学3年生	平成22年1月以降
⑥ 高校生・高齢者 (65歳以上)	平成22年1月後半～

※国からのワクチンの供給状況や接種回数の変更などにより、スケジュールが変更される可能性があります。

お詫びと訂正

10月20日号のおめでた欄に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。
誤) 佐中美友 智昭 春日町黒井
正) 佐中美友 智昭 春日町黒井



教師カスルアップセミナー講師
京都ノートルダム女子大学 菅井啓之 教授

キノコ類が生えた古木を観察し、班ごとに気づきを発表した子どもたちは、「いろんな発見ができた」と楽しかった様子。菅井教授：「子どもに夢を与える授業で、学ぶ喜びを体験させてあげたい。教師自身が探求する喜びや楽しさを持っていれば、子どももその様子を見て疑問や興味を抱きます。大人がいかに楽しみ、子どもの興味を引き付けるかが大事ですね」



サイエンスセミナー講師
鳥取工業高校 足利裕人 教諭

空気抵抗を利用した紙飛行機づくりで科学を体感した子どもたち。足利教諭：「疑問を感じないと科学ははじまりません。例えば、バードウォッチングに行き、双眼鏡をのぞくと今まで見えなかったものが見えてきます。自然への興味がわき、遠くを見ることで天体や科学にも結びつくかもしれない。私は、磁石やコイルなど、ポケットにはいつも何かを入れて持ち歩き、子どもたちが興味関心を抱く機会をつくっていました。大人は子どもたちの無限の可能性を引き出してあげることが大切ですね」

親や教師が子どもの興味・関心を引き出す

「市民総がかりで進める丹波の教育フォーラム」サイエンスセミナー・教師カスルアップセミナー模範授業（10月23日水上市中学校にて）



子どもたちの未来をみんなの手で

丹波の力、わたしたちの夢

- いま、「学び」に必要なものとは -



丹波の子どもたちが
情熱を蓄え高く飛んで
自分の道を歩んでいけるように…。
「夢」を描くことの大切さを伝えよう。

「大きくなったら野球選手になりたい」
「私は保育士さんになりたい」

みなさんは、幼いころどんな夢を抱いていましたか。そして、その夢がひとつの目標に変わったとき、自分の中でどんな変化が起こりましたか。

夢や目標ができると、達成しようという未来への希望ややる気がわいてきます。さらに、困難に出会っても立ち向かっていける勇気や自信が出てきます。

しかし今、丹波市では、自分の将来に夢が持てない子どもが増えているのが現状です。目標に向かって突き進む子を横目に、学ぶ意味が見いだせないまま、ただ何となく毎日を過ごしている子どももいます。それは、中学・高校と進むにつれ焦りへと変わり、自分の将来や進路に不安を感じ、苦しむ子ども出てきます。

子どもたちの未来をみんなの手で。

子どもたちは無限の可能性を秘めています。子どもたちが、自らの可能性をたえず実感し、将来への夢を持ち、その夢の実現に向けて生き生きと学習活動に取り組むためには、学習意欲や知的好奇心などの向上心をくすぐるきっかけをつくる必要があります。

まず、家庭は教育の原点の場として、子どもの力強い応援者に。学校は、子どもたちの興味関心を引き出す教育を実践するとともに、家庭や地域の協力が得られるよう、風通しのよい開かれた教育を。地域は、地域応援団として学校や家庭を支援して。それぞれがお互い連携し、子どもの成長にかかわる当事者としての自覚と責任を持ち、丹波市の教育を推進・支援することが、今、求められています。これから丹波市を担う子どもたちをもに育みませんか。「夢」を描くことの大切さを伝え、丹波の子どもたちが情熱を蓄え、高く飛んで、自分の道を力強く歩んでいけるように。

Next Page…

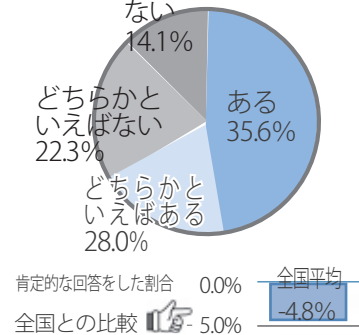
夢を追って学び続けるエネルギーはどこからわいてくるのか…。丹波市で育ち、各界で活躍する3人の「先輩」たちから学ぶ。

「夢や目標を持てない子」が約3割
その原因は…？

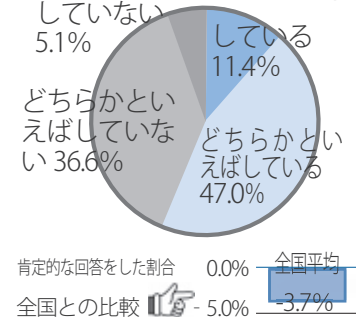
- 失敗や挫折を恐れる
- 努力や困難を避ける
- 仕事をする両親の姿に触れる機会が減った
- 自分に自信がなく目標を達成できないと思いつている
- 働きたい場所が丹波市にはない

…などが予想されます。

Q 将来の夢や目標がありますか？
(中学3年生)



Q 難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦していますか？
(中学3年生)



子どもたちの現状

「将来の夢や目標を持っているか」「自分にはよいところがあると思うか」「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦するか」。今年度の「全国学力・学習状況調査」で、これらの問いに対し「いいえ」と回答した小中学生の割合が、全国平均よりも高いことが判明しました。すべての子どもたちがそうであるとは限りませんが、全体を見れば、自尊心が低く、チャレンジ精神に欠ける子どもが多いと読み取れます。その影響からか、学習意欲に欠け、家庭学習時間も少なくなり、学力自体にも影響を与えています。また、不登校も多く、昨年度の不登校率は全国平均を超えています。

情報や流通基盤の充実により、丹波市も物質的には豊かになりました。しかしその反面、「豊かさ」が壁となり、子どもたちの職業観や勤労観が培われていないのが現状です。

家庭の現状

核家族化が進み、経済的な不安もあいまって、保護者も自分たちの生活に精一杯で、子育てに目が届かない家庭が多いのが現状です。また、核家族化により、地域コミュニティが十分に構築されず、子育てや地域のかかわりに不安を抱える家庭も少なくありません。

丹波市の現状

50年を歩んだ私たちから、
これからの50年を生きる
君たちへ―。



3人の先輩パネリスト panelists are...

藤本 幸人 Fujimoto Sachito

1957年山南町小野尻生まれ。(株)本田技術研究所で燃料電池車開発チームに携わる。2009年から新型燃料電池車「FCX Clarity」開発責任者。上席研究員。



【性格】人見知り わがまま 強運 協調性に欠ける 【少年時代】機械いじりが好きで、自宅にあった「原チャリ」をいじって親に怒られたことも。中学時代には、自転車のパーツを買ってきて組み立てて乗っていた。手先はそれほど器用でないが、何か機械いじりがしたい、車をつくりたい、開発したいという方向へと向かい、エンジニアに興味を持った。将来は機械系を志望し、高校時代理系に在籍。勉学には励めなかったが、化学は好きで部活のテニスも一生懸命に取り組んだ。本田は、「世界一の負けず嫌い」を看板にするおもしろい会社で共感を持てた。つくった車は子どもみたいなもの。愛着もあるし、みんなにその魅力を伝えたい。

神 康幸 Jin Yasuyuki

1958年柏原町柏原生まれ。映画プロデューサー。CBS ソニーに入社し主に音楽雑誌の編集に携わる。93年オフィスクレッシェンドを設立し副社長に。映画「包帯クラブ」「20世紀少年―最終章―」ドラマ「サムライ・ハイスクール」などの制作に携わる。



【性格】楽天的、ポジティブ 【少年時代】洋楽が好きだった。世界中のことを知りたくて、図書館へもかなり行った。丹波はとてもピースフルなところだけど『いずれ僕はここを出て、自分にしかできないことをやりたいんだ』という思いがあった。大学入学後、「自分独自の魅力を大学以外で磨いておかないと、どの企業もとってくれない」と気付き、自分磨きに必死だった。大学4回生の数か月間はアメリカに行き、ニューヨーク州立大学などで学ぶ。その際に、ニューヨークの最新音楽事情やお店、大学事情などを取材して、記事を書くバイトをした経験が武器となり、CBS ソニーに入社。

安井 孝之 Yasui Takayuki

1957年氷上町石生生まれ。朝日新聞社に入社。東京と大阪の経済部で流通・自動車・金融業界などを取材。2005年7月から編集委員。企業や社会のあり方など日本の将来の姿を紙面に描く。



【性格】脳天気、マジメ 【少年時代】高校時代、自分の思いと現実とのギャップに、「俺はだめだだめだ」とばかり日記に書いていた。理系だったが、新聞をこまめに読み、天声人語の切り抜きを貼っていた。本はちょっと背伸びをしてむずかしい本を読んでいたが、勉強はそこそこ。大学は医学部をめざしたが、理工学部に進む。大学院では、地球化学を専攻していたが、当時は働き口がなく思わぬ方向に進み、マスコミへと進む。

― シンポジウム・取材より

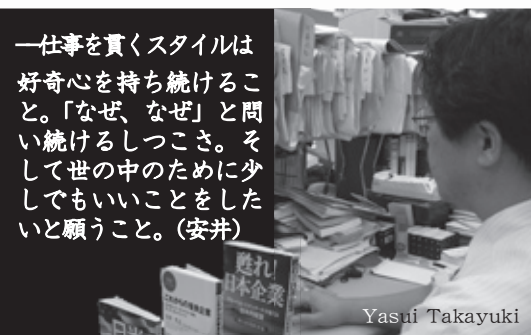
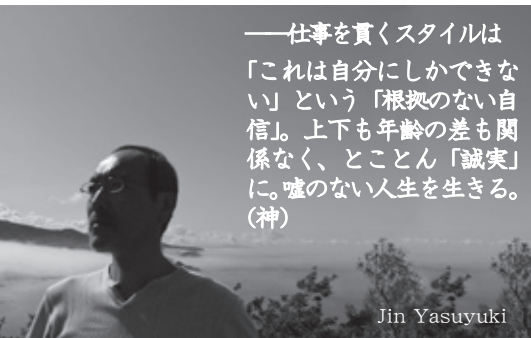
夢をもつことの大切さ 学び続けることの意味を伝えたい。

「市民総がかりで進める丹波の教育フォーラム」

シンポジウム

丹波の力、わたしたちの夢・いま

「学び」に必要なものとは、



― 丹波の子どもたちへ ―

自分が好きになれることを早く見つけて、その夢を描いてほしい。できれば、理料や科学に興味を持って。将来は、モノ造りですごいものを作る産み出して、世のため人のために役立ってほしい。この年になって改めて思うのは、何でもやってみたいとわからないということ。やらなければそれで、何も起こらないのでセーフティーなのかもしれない。やったらやっただけリスクを伴うけど、やらないことには何もはじまらない。

― これからの自分は ―

世界に名を残す名車を作る。自分の造った車で人を感動させたい。もちろん自分で乗って運転して感動したい。「夢」は「目標」。夢を忘れない、世界に挑戦するエンジンアでありたい。

― 丹波の子どもたちへ ―

出会った友を大切に。社会に出たら、一人で物事は達成できない。友情が未来を作り、仕事を作る。イメージすることにお金はかからない。どうせなら、大きな夢を描こう。若い君たちは、可能性の宝庫なのだ。

― 子どものころは ―

高校時代は、地理や世界史、英語が好きで、「学ぶことに自分の人生の1ページが開いていくような感覚」だった。

― これからの自分は ―

出来ない子もいるが、作ったものはすべて「自分の子ども」として愛している。誘惑もたくさんあるけれど、丹波人である誇りを胸に秘めて、これからも誠実にエンターテイメントをつくりていきたいと思う。

― 丹波の子どもたちへ ―

いつも「もう少し歩いてみようか」と前に進んでほしい。もう一歩、もう少し、もうちょっと、と努力すること、新しい世界が見つかるはず。挫折しても、「これで終わり」と思わないで欲しい。道はいくらでもある。新しい道を歩み出していくうちに、新しい夢や希望が見えてくるはず。

一つの失敗で諦めないことが大切。紆余曲折の中で感じることは、「もうちょっとがんばろう」ということ。やらないリスクよりもやるリスク、前に進んだリスクの方が絶対に小さい。

― 自分にとって、丹波市とは ―
ふるさと。脱出したかった場所。そして、最後に戻りたい場所。



最新型燃料電池車のしくみを模型を使って解説する藤本さん。



高校時代の思い出を交えながら、自身の歩みや夢、丹波市の教育などについて語りあいました。

な。丹波でも、外国人が来たときに中高生ぐらいの子どもたちが『このお寺はね...』と説明できるようになったらすごい。郷里を誇れない人は国も誇れないし、家族の大切さもわからないということなのかもしれない」(神)

「このたくさんさんの自然の中で育ったことで、そのあと生きていくことはたくさんある。自然の中で活動して、子どもたちを感動させながら教育させれば、それでいい。まわりには教材がたくさんあるはず。やらないリスクよりもやるリスクの方が小さい。子どもたちを感動させられる教育を」(安井)

「教育って、一番最初は家庭から。やっぱり家庭環境って大事で、親や兄弟姉妹のことは見て学ぶんだと思う。それが基礎にあって、学校の先生っていう存在が大切なんだ。自分の子どもを見ていて思うのは、学校に通いだすと、当然、家族よりも長く先生と接するわけだから、良くも悪くも先生の影響ってものすごく大きいということ。親から見ても一生懸命と思える先生の姿を見ると、子どもたちのクラスも明らかに変わっていくのが分かる。子どものうちって感受性が高いに決まっているから、持っていくき方次第でどんどん伸びていくし、家庭と先生の力って大切だと感じる。基礎知識や学力ももちろん大事で、われわれも新しい設計をしたり物理的なことを知らないという力も養っていないけど、それとは違う力も養っていないかな」(藤本)

募集テーマは3つ！

1

食部門

食べられる
「ちーたん」

特産物などを使ったイメージ図
やレシピなど。スイーツからお
弁当、飲み物まで分野は
自由！

2

グッズ部門

身につける
「ちーたん」

思わず身につけたくなるよ
うなTシャツ、小物、雑貨
など。

3

自由部門

ちーたん・丹波竜・
恐竜化石などを
テーマに自由に！

おもちゃ、学習用教材、体
験プランなど。

かわいくおしゃれに
包装するラッピング
(パッケージ) アイデ
アも募集してるよ！

あったらいいな こんな「ちーたん」

「商品アイデア」 大募集！

「丹波竜」の魅力をさらに広めるため、お土産品などの商品化を前提とし
た「ちーたん」や「丹波竜」の商品アイデアを募集します。

【賞金総額】 90 万円！

【応募締切】 11 月 30 日（月）必着

応募方法など詳しくは、各支所、公民館などに設置の募集チラシまたはホ
ームページ「丹波竜.com (<http://www.tambaryu.com/>)」をご覧ください。

☎ 恐竜を活かしたまちづくり課 ☎ 82 - 3869

ちーたん NEWS !

12 月 24 日（木）午後 2 時～山南住民センタ
ーで「丹波竜化石発掘体験セミナー」を開催！
申込受付は 12 月 1 日（火）から開始します。
詳しくは、恐竜を活かしたまちづくり課まで。

ゆるキャラまつり in 彦根に「ちーたん」も参加！

全 国各地のいやし系着ぐるみ 138 体が一堂に集う「ゆるキャラまつり」が、
10 月 23 日から 25 日にかけて彦根市で開催され、「ちーたん」も参加し
ました。地元の「ひこにゃん」たちとの開会セレモニーや、彦根城近くの商店
街で「ちーたん」と観光物産などを PR。全国から集まった約 7 万 2 千人もの
観光客やゆるキャラファンでにぎわい、「ちーたん」も大好評でした！



～ From キグるミさみっと 2009 ～

奈良のせんとくとんと夢のコラボ（上）。「ゆるキャ
ラ音頭」の歌手・橋幸夫さんとの開会セレモニー
♪「ちーたん」はどこかな？わかるかな？（右）



ちーたんをさがせ！